

拾年保存

壹

IPS Doc No 3256

昭和十六年

Proj. No.	326
S. A. No.	
Sack No.	
Item No.	43

陸軍省

大日記

十二月

照合濟

昭和十六年

壹

十二月

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

EVIDENTIARY DOCUMENT NUMBER 3256

TITLE: First Great Diary. Army Ministry

SOURCE: Military Affairs Bureau (War Ministry)

MICROFILMING

Document 3256 Source: Military Affairs Bureau (War
has been microfilmed on 26 Oct 1948 for Ministry)
permanent historical record.

(None) (Part) of this document had been extracted for court use.

F. MATTISON
Files Unit
Document Division

類

一

濟

松

決裁指定

連帶
課名

拾年保

決行後回
覽課名

興
五
院

受領
番號
壹第一八九七號
廳名
近衛師團經理部

件名
陸軍兵舎ノ一部使用等ニ關スル件

大臣
委

次官
委

高級
副官

主務
副官
官房
主計

決裁濟認證

參事官

主務
局長

主務
課長

主務
課員

審案筆記者

主務
號番
經建甲第三八三號

連
局

帶
長

課

大正
年
月
日

決行
局

長

課

大正
年
月
日

決行
局

長

課

大正
年
月
日

決行
局

長

課

五
頁

大臣ヨリ興亞院總務長官心得へ同答案

(陸普)

四月十八日附昭一六政發第九七號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件ハ異存
無之ニ付本件使用ノ細部ニ關シテハ東部第七部像へ連絡ノ上近衛師
團運理部長ト協定相成度

陸普第三一八一號

昭和六年五月三日

參事

副官ヨリ近衛師團運理部長へ通牒案

(陸普)

首題ノ件ニ關シ別紙甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答セラレタルニ付依
命通牒ス

陸普第三一八一號 昭和六年五月三日

大日本帝國政府

昭一六政發第九七號

昭和十六年四月十八日

二九七



興亞院總務長官心得



陸軍大臣殿

① 陸軍兵舎ノ一部使用等ニ關スル件照會
 本年五月以降興亞院興亞鍊成所所生(約六十名)ノ鍊成ヲ開始致ス
 ② ベキ運ビト相成度ニ付テハ當分ノ間東部第七部隊兵舎ノ一部使用並
 同部隊ニ給養ノ一部ヲ依頼致度照會ス
 ③ 追テ實施ノ細部事項ニ關シテハ直接部隊當局ト連絡致シ度ニ付御
 諒承相煩度

近多田

參
考

二

第

課
員

課
長

局
長

交通

電務

陸軍

拾年保

陸軍省
第一
四五九六

昭和十六年九月二日
16.9.2.
前午
陸軍省
官

企畫院六部發第一二五號
昭和十六年九月一日

企畫院次長 宮本 武之輔

陸軍次官 木村 兵太郎 殿

港灣施設緊急整備實施計畫ニ關スル件

現下ノ船腹不足ニ依ル海上輸送能力ノ逼迫ニ鑑ミ之ガ増強對策ノ一ト
シテ港灣荷役能率ノ増進ヲ圖ル爲メニ港灣施設ノ緊急整備ニ付關係各
廳ノ御協力ヲ得檢討中ノ處別紙ノ如ク決定致候條本計畫實現方ニ關シ
格段ノ御配意相成度候

追而右工事所要鋼材ニ關シテハ物資動員計畫^〇5特配中ニ金額三一七
地ヲ計上濟ノモノニ有之候條爲念申添候

別紙
11月28日
交通課

内閣

十二月四日

用

檢封條

No. 534

機密文書配付票 甲

陸軍省 企畫院 第 號 別 部

企畫院 第 號 別 部

昭和十六年十一月十八日

陸軍省 企畫院 官房 16.11.29

陸軍省 官房 16.11.29

企畫院總裁官房文書課長

陸軍省機密文書取扱主任官殿

貴廳宛左記文書配付致候間御查收ノ上領收票御送附相煩度候也

記	標	件	名
	機密	文書番號	昭和十六年度資金統制計畫
		一連番號及部數	企計シ金第002號
		至自	一四二號
			一部

原簿記載済 昭和十六年十一月三十日受領證送付済

陸軍

十一月五日

第五號

企畫院文發第三二五號

昭和十六年十一月二十八日

企畫院總裁 鈴木貞

陸軍大臣 東條英機 殿

「地方長官會議ニ於ケル企畫院次長説明」送付ノ件

地方長官會議ニ於ケル説明要旨左記ノ通貴省機密文書取扱主任官御
付致置候條可然御利用相成度候

記

機密 地方長官會議ニ於ケル企畫院次長説明

企文機第五號自一八號一部

大臣官房書類掛



30/11 受領證送付済

企畫院文發第三二五號

昭和十六年十一月二十八日

企畫院次長 宮 本 武 之 輔



淺野次郎 木村 兵太郎 殿

「地方長官會議ニ於ケル企畫院次長説明」送付ノ件

地方長官會議ニ於ケル説明要旨左記ノ通貴省機密文書取扱主任官宛送付致置候條可然御利用相成度候

記

一 機 密 地方長官會議ニ於ケル企畫院次長説明

企文機第五號自三九號一 部

閱

書類掛
水上

第五號

原簿記帳簿

三月五日

抄年保

陸軍省 第一五三二一號
企畫院調發丙第五四號

昭和十六年十二月一日

昭和十六年十二月一日
16.12.1
陸軍省 企畫院

企畫院次長 官 本 武之輔

企畫院 官 本 武之輔

昭和十六年十二月一日
16.12.1
陸軍省 企畫院

陸軍次官 木村兵太郎 殿

工場調査ニ關スル覺書並ニ秘密工場名簿、軍用
資源秘密指定及秘匿措置命令工場名簿送付ノ件

秘密工場及軍資秘工場ノ調査ニ關スル覺書別紙ノ通決定致候ニ就テハ
秘密工場名簿、軍用資源秘密指定及秘匿措置命令工場名簿相添へ及送
付候

現品ハ次候宛宛配印ナシ
昭和十六年十二月一日

受領證送付済

内閣

3256

Item 6

十二月八日

内閣閣甲第四四五號

昭和十六年十一月二十八日

内閣書記官長 星野直樹

陸軍大臣 東條英機 殿

内閣ニ第六委員會設置ニ關スル件別紙ノ通關議決定相成候條依命此段
及通牒候

閣下各深取存候



内閣

拾年

極秘

第六委員會設置ニ關スル件

昭和十六年十一月二十八日
閣議決定

南方諸地域（佛印、泰及其ノ他南方諸地域）ニ於ケル資源ノ取得及開發ヲ主體トスル經濟ノ企畫及統制ニ關スル事項ヲ審議立案スル爲内閣ニ關係各廳（企、外、大、陸、海）ノ職員ヲ以テ構成スル第六委員會ヲ設置ス

本委員會ノ庶務ハ企畫院ニ於テ之ヲ掌ル

本委員會ノ設置ニ伴ヒ企畫院第五委員會ハ之ヲ廢止ス

五月九日

張

七

戰備

濟

軍務

拾年保

第二一九七

企畫院三部發第七六號

昭和十六年五月二日

企畫院次長 宮本武之輔

陸軍次官 木村 兵太郎 殿

金屬増産ニ關スル件

金屬増産ニ關スル件並ニ金屬増産應急對策ノ件ニ關シ昭和十六年四月二十八日ノ次官會議ニ於テ別紙ノ通決定相成候條此段及御通知候尙本件實施ニ關シ關係方面ト御連絡ノ上至急措置相成様御取計相煩度



内閣

秘

金屬増産ニ關スル件

昭和十六年四月二十八日
次官會議決定

金屬資源ハ最近諸外國ノ地金、鑽石類ノ輸出制限及禁止措置ニ依リ供給力著シク減退シタルコト及國內鑛ノ品位漸次低下シタルコト等ニ伴ヒ特別ノ措置ヲ必要トスルニ至リタリ、之ガ爲生産原價ノ確保、勞力、資材、資金ノ充足等各方面ヨリ根本的ナル對策ヲ樹テ實施ニ移スノ要アリ

而シテ勞力ノ問題ニ付テハ之ガ根本方策トシテ

- (一) 勞務者ノ勞働條件ノ改善
- (二) 生活必需品及勞働要具ノ配給ノ改善
- (三) 所要勞務者ノ充足

等ニ付炭礦勞務者ト併セ可及的速ニ實施スルノ措置ヲ講ジツツアルモ取敢ヘズ應急對策トシテ別紙金屬増産應急對策ヲ實施スルモノトス

金屬增產應急對策ノ件

昭和十六年四月二十八日
次官會議決定

第一 全國金屬增產強調期間ノ實施

昭和十六年五月ヨリ七月迄ヲ全國金屬增產強調期間トシ增產ニ關シ官民ノ努力ヲ傾注スルモノトス

第二 賃金ニ對スル特例

前記期間中特定鑛山ニ於ケル勞務者ノ勤績ノ獎勵竝ニ能率、稼働率向上ノ爲賃金統制令運用上特別ノ考慮ヲ拂フ

第三 表彰

前記期間中成績優良ナル鑛山竝ニ技術者及勞務者ニ對シテ特別ナル國家的表彰ヲ行ヒ其ノ名譽ヲ顯揚シ具體的優遇ノ途ヲ講ズ
右ニ關シテハ石炭增產強調期間ノ例ニ準ズルモノトス

第四 食料其ノ他生活必需品、勞働要具及住宅ノ確保

食料其ノ他生活必需品及勞働要具ニ付テハ其ノ配給ニ關シ優先的考

慮ヲナスモノトス此ノ場合配給上購買組合又ハ配給所等ヲ可及的活用スル様措置スルモノトス

住宅供給ニ付必要ナル資材、勞力ノ確保等特別ノ措置ヲ講ズルモノトス

第五 勞務者ノ確保

所要勞務者ノ確保ニ付テハ特定鑛山ニ對スル勞務者ニ重點的ニ集中シ其ノ募集ニ關シテハ炭鑛勞務者ノ募集ト併セ考慮シ別途特別ノ措置ヲ講ズルモノトス

四

拾年保

第壹卷

企警院總二秘第一一二號

昭和十六年十二月三日



木村陸軍少官 殿

日滿支經濟協議會事務局長

企警院次長 官本武之輔



日滿支經濟協議會ノ構成ニ關スル件

日滿支經濟協議會總務幹事會幹事長左記ノ通決定致候條此段及通知候

記

總務幹事會幹事長 企警院調查官(總務室附) 中西貞喜

號

八

十一月十日



十月十日

大日本帝國政府

昭一六政發第三〇九號

昭和十六年十二月三日

陸軍省
陸軍部
陸軍大臣
陸軍事務課
陸軍省
陸軍部
陸軍大臣
陸軍事務課



興亞院政務部長



陸軍次官殿

昭和十七年度支那阿片需給計畫打合會議ニ關スル件

來ル十二月八日ヨリ二日間左記日程ニ依リ本院ニ於テ首題ノ會議ヲ

開催致スニ付差支ナキ限り貴廳係官ヲ出席方配慮相煩度

尙準備ノ都合上出席者氏名御通知相成度

記

陸軍省
陸軍部
陸軍大臣
陸軍事務課
陸軍省
陸軍部
陸軍大臣
陸軍事務課

大日本帝國政府

昭和一六如海三〇六號

昭和十六年十二月三日



12/17/16



昭和十七年度支那阿片需給計畫打合會議日程

(於興亞院第一會議室)

十二月八日(月)

午前之部 (午前十時)

1. 挨拶

2. 司會

3. 現地阿片事情説明並意見開陳

午後之部 (午後一時)

3. ノ續キ

十二月九日(火)

午前之部 (午前十時)

4. 昭和十七年度需給計畫ニ關スル打合セ

(本院案ニ基キ審議決定)

午後之部 (午後一時)

5. 懇談

政務部長
政務部第二課長
各現地係官

十二月八日 (日)

(附其部宛一會書)

日滿支産業建設五ヶ年計畫概略案作製ニ關スル件

企畫院總二發第六六號

昭和十六年九月九日

陸軍部

日滿支經濟協議會事務局長

企畫院長 宮本武吉

次官

殿

日滿支産業建設五ヶ年計畫概略案作製ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ本年八月二十五日企畫院ニ於テ日滿支經濟協議會生
産擴充幹事會ヲ開催シ同席上産業建設五ヶ年計畫概略案ヲ別紙作製
要領ニ據リ作製ノ上之ヲ骨子トシテ設定ノコトニ決定致シ候條關係
資料作製送付等可然御處理相煩度此段及通知候

進テ別紙日滿支産業建設五ヶ年計畫要綱(案)ハ概略案作製ノ一
應ノ基準トスルモ概略案完成後改メテ檢耐審議可致候

軍及陸工馬展飛

第一〇號

陸軍部
企畫院
事務局長

陸 16. 1437 軍務課

航空本部 16.12.6. 受付

陸軍部 16.11.26 64

陸軍部 16.9.20 20 工政課

陸軍部事務局長

神原

秘

日滿支産業建設五ヶ年計畫要綱（案）

一六八三〇
日滿支經濟協議會

第一 方針

國際新情勢ノ進展ニ對處シ自給圈ヲ核心トシ第一補給圈及第二補給圈ヲ外延トスル東亞共榮圈ノ強靱ナル自給自足態勢ヲ速ニ確立スルノ要愈々緊切ナルニ鑑ミ第一次生産力擴充計畫ノ實績ニ積フルト共ニ世界列強ノ國防經濟力ノ趨勢ヲ勘案シ基本産業ニ付自給圈ヲ通ズル綜合的産業建設計畫ヲ樹立シ日滿支三國ノ一體の協同ニ依リ萬難ヲ排シテ之ガ完遂ヲ期シ以テ世界史的大轉換期ニ當面セル皇國及東亞ノ大使命達成上遺憾ナキヲ期セントス

第二 要領

- 一、本計畫ノ期間ハ自昭和十七年度至昭和二十一年度（自四月翌年三月）ノ五箇年トス
- 二、計畫産業ノ範圍ハ左ノ通トス

鐵 鋼

石 炭

輕 金 屬

非鐵金屬、非金屬及金

石 油（石油鑛山、石油精製、人造石油）

ア ル コ ー ル

火 藥 及 爆 藥

有 機 合 成 品（カーバイト、人造ゴム、ブタノール、メタノール）

タ ン ニ ン

ソ ー ダ 及 鹽

化 學 肥 料

パ ル プ

セ メ ン ト

カイボンプラッタ

研削材料

工作機械

重要機械

鐵道

港灣

内河水運

道路

鐵道車輛

船舶

自動車

通信

電力

燃料用瓦斯

主要農產物

(五百噸以上)

(米、麥類、甘蔗、馬鈴薯、粟、高粱、玉蜀黍、大豆、砂糖、棉花、麻類、)

林業

畜産業

水產業

醫藥品

關聯附帶事業

三、本計畫ノ重點ハ緊要國防産業特ニ從來自給國外ニ依存セシ重要不足資源ノ積極的開發及歐米ヨリノ輸入機械ノ國産化ニ之ヲ置クモノトス

尙日本ニ在リテハ鐵鋼、石炭、輕金屬、非鐵金屬、非金屬、石油、船舶、工作機械、重要機械、電力、肥料及米ニ、滿洲國ニ在リテハ鐵鋼、石炭、輕金屬、非鐵金屬、非金屬、人造石油、電氣化學工業、鹽及主要農産物（大豆、高粱、玉蜀黍、麥類、粟）ニ、支那ニ在リテハ鐵鋼、石炭、非鐵金屬、非金屬、鹽及棉花

ニ重點ヲ置クモノトス

前項以外ノ産業ニ付テハ日滿支ヲ通ジ適地ニ適業ヲ配置スルモノトス

備 考

本計畫ノ實施ニ付テハ情勢ノ進展ニ即應シ第一補給圖、第二補給圖ヲ逐次計畫地域内ニ編入スルモノトス

秘

日滿支産業建設五ヶ年計畫概略案作成要領

一六八、三〇
日滿支經濟協議會

日滿支産業建設五ヶ年計畫概略案ハ別添日滿支産業建設五ヶ年計畫要綱案ニ基キ左ノ要領ニ依リ之ヲ作成スルモノトス

一、 概略案ハ左ノ各項ニ付別紙様式ニ依リ作成スルモノトス

(一) 生産計畫竝設備能力

様式第一ニ依リ主要工場別及總數ニ付作成スルモノトス

(二) 主要副産物生産計畫竝設備能力

様式第二ニ依リ總數ニ付作成スルモノトス

(三) 生産品需給見込額

様式第三ニ依リ作成スルモノトス

(四) 主要原材料補給計畫

自給圈又ハ第一補給圈若ハ第二補給圈内ノ他地域ニ期待或ハ供給スルヲ要スル原材料ニ付テハ其ノ關係ヲ明示スルモノトシ

様式第四ニ依リ總數ニ付作成スルモノトス

(五) 主要資材所要額

様式第五ニ依リ主要工場別及總數ニ付作成スルモノトス

(六) 電力所要量

様式第六ニ依リ主要工場別及總數ニ付作成スルモノトス

(七) 労働者及技術者新規所要數

様式第七ニ依リ作成スルモノトス

(八) 資金所要額

様式第八ニ依リ作成スルモノトス

(九) 建設所要資材、資金及労働者算出根基

様式第九ニ依リ作成スルモノトス

(十) 港湾施設計畫

様式第十ニ依リ作成スルモノトス

(十一) 鐵道建設改良計畫

様式第十一ニ依リ作成スルモノトス

三、計畫産業ノ生産品目區分ハ左ニ依ルモノトス

〔一〕 鐵 鋼

- | | |
|-----------|-----------|
| イ、普通鋼鋼材 | ロ、普通鋼鍛鋼 |
| ハ、普通鋼鑄鋼 | ニ、普通鋼鋼塊 |
| ホ、普通銑 | ヘ、低 燐 銑 |
| ト、鐵 鑛 石 | チ、砂 鐵 |
| リ、瀾 俺 鑛 石 | ヌ、特殊鋼鋼材 |
| ル、特殊鋼鍛鋼 | ヲ、特殊鋼鑄鋼 |
| ワ、特殊鋼鋼塊 | カ、製 鋼 原 鐵 |
| ヨ、フエロアロイ | タ、特殊鋼原鑛石 |
| レ、ニツケル | ソ、コバルト |

〔二〕 石 炭

- イ、有 煙 炭
粘 結 炭

原料炭

其ノ他

非粘結炭

瓦斯發生爐用炭

其ノ他

ロ、無煙炭

目 輕金屬

イ、アルミニウム

アルミニウム

アルミナ

アルミナ原料

ロ、マグネシウム

四 非鐵金屬、非金屬及金

イ、銅
ロ、鉛
ハ、亜鉛
ニ、錫
ホ、アンチモン

(五) 石油

へ、硫化鐵
ト、石綿
チ、雲母
リ、螢石
ヌ、黒鉛
ル、水銀
ヲ、石膏
ワ、金

イ、天然石油

原油

天然瓦斯

航空用配合燃料

航空揮發油

普通揮發油

重油

航空潤滑油

高級機械油

機械油

半固体機械油

ロ、人造石油

航空用航空燃料

航空揮發油

普通揮發油

軽質ダイゼル油

重質ダイゼル油

重油

航空潤滑油

機械油

(六) アルコール

(七) 火薬及爆薬

(八) 有機合成品

イ、カーバイド

ロ、人造ゴム

ハ、ブタノール
ニ、メタノール

(カ) タンニン

(キ) ソーダ及鹽

イ、ソーダ灰

ロ、苛性ソーダ

ハ、青化ソーダ

ニ、鹽

(ク) 化學肥料

イ、窒素肥料

ロ、磷酸肥料 (燐鑛石及燐灰石ヲ含ム)

ハ、加里肥料

ニ、化成肥料

(ケ) パルプ

イ、製紙用バルブ
ロ、人絹用バルブ

(五) セメント

(六) カーボンブラツク

(七) 研削材料

(八) 工作機械

(九) 重要機械

イ、蒸氣罐

ハ、水車

ホ、通信機器

ト、製鐵機器

リ、精密機器

ル、工具

ロ、蒸氣タービン

ニ、電氣機器

ヘ、鑛山機器

チ、化學機器

ヌ、軸受

(六) 鐵道

ニ、タイヤ及子ユープ

(国) 通 信

(美) 電 力

イ、水 力

ロ、火 力

(国) 燃料用瓦斯

(英) 主要農産物

イ、米

ハ、甘蔗馬鈴薯

ホ、高粱

ト、大豆

リ、棉花

ロ、麥 類

ニ、粟

ヘ、玉蜀黍

チ、砂糖

ヌ、麻 類

○ (国) 林 業

○ (用) 畜 産 業

〇〇
國(註) 國(註)

水産業
醫藥品

關聯附帶事業

(一) 各産業共通ノモノ

イ、耐火煉瓦

ロ、石灰石

(二) 各産業個別ノモノ

三、技術ニ付テハ自給圏外ノ第三國ニ依存セザルヲ原則トスルモ第三國ニ依存スルヲ要スルモノアル場合ハ本案ト分離シ別途添付スルモノトス

四、所要資材ノ積算基準ハ概ネ昭和十七年度ニ付テハ昭和十六年度第一四半期配當額ノ四倍程度トシ昭和十八年度以降ハ逐年一割程度ノ遞増アルモノトシテ算定スルモノトス

五、輸送力、技術者、労働者等ノ諸條件ヲ勘案検討シ實行可能ナル計

畫ヲ樹立スルモノトス

六 主要關聯附帶事業ニ付テハ其ノ計畫ヲ本案ニ準ジ作成添附スルモノトス

七 計畫産業ニ付テハ其ノ適地性ニ付テノ主要立地條件ヲ簡明ニ記載セル説明書ヲ添附スルモノトス

八 擔當官廳

概略案作成官廳ノ擔當區分ハ左ニ依ルモノトス

鐵鋼	内地	支那
石炭	商工省	興亞院
輕金屬	拓務省	滿洲國政府
非鐵金屬、非金屬及金	同	同
石油	同	同
アルコール	大藏省	同

醫藥用品	水產	畜產	林業	主要農產物	燃料用瓦斯	電力	通信	自動車	船舶	鐵道車輛	道路	內河水運
------	----	----	----	-------	-------	----	----	-----	----	------	----	------

厚生省	同	同	同	農林省	商工省	同	遞信省	商工省	遞信省	商工省	鐵道省	內務省
同	同	同	同	同		同	同	同	同	同	同	拓務省
同	同	同	同	同		同	同	同	同	同	同	滿洲國政府
同	同	同	同	同		同	同	同	同	同	同	興亞院

支經濟協議會事務局）ニ提出スルモノトス
擔當官廳ハ昭和十六年十月末日迄ニ概略案四十部ヲ企畫院（日滿

備考

- 一、日滿支各概略案ニ付テハ其ノ統合調整前豫メ（十一月中ヲ豫定）各關係者間ニ於テ討議スルモノトス
- 二、日滿支各國ハ本計畫ノ方針決定シタルトキハ之ニ從ヒ概略案ヲ改訂シ明細計畫ヲ樹立スルモノトス（十二月中ヲ豫定ス）
- 三、計畫產業品目中丸印ヲ附シタルモノノ計畫ハ昭和十六年十二月末日迄ニ提出スルモノトス

- ロ、 非鐵金屬、非金屬及金ノ設備能力ハ銅、鉛、亜鉛、錫、アンチモン、水銀及金ニ付テハ精鍊能力トシ之ヲ電解及電解ニ非ザルモノニ區分シ、硫化鐵鑛、石綿、雲母、螢石、黒鉛、石膏ニ付テハ選鑛能力ヲ記載スルモノトス
- ハ、 原料鑛石ノ生産額ニ付テハ平均品位ノ記載ヲ要スルモノトス
- ニ、 電氣ニ付テハ本様式ニ準ジ發電能力及出力ヲ記載スルモノトス
- ホ、 前表中「設備能力」トアルハ農業ニ在リテハ「作付面積」、林業ニ在リテハ「林野面積」、畜産業ニ在リテハ「頭數」、水産業ニ在リテハ「隻數及噸數」トス

様式第二 主要副産物設備能力並生産計畫表（總括）

地域	産業名	生産品目名	設備能力					單位
			生産額	十六年度	十七年度	十八年度	十九年度	

「備考」 副産物ハ主要品ニ限定スルモノトス（例示「製鐵業」硫
安、硫酸、ベンゾール、クレオソート、ピッチ）

様式第三 生産品需給見込額表

産業名	生産品目名	単位				
		十六年度	十七年度	十八年度	十九年度	二十年度
一、國內需給量 軍需 生擴 其他 計						
二、國內供給量						
三、差引過不足						
四、輸出又ハ輸入數量						
計 日本、滿洲、支那、第一補給圈、第二補給圈、別						

「備考」

一、需要ノ區分ニ付テハ品目ニ應ジ更ニ細分スルヲ防グズ

二、計畫品目中國内ニ於テ生産アルモノノミニ付掲記スルモノトス

三 繰越及繰入數量ハ差引過不足ナキモノトシ計上セザ

ルモノトス

四 通常常備在庫量ハ需要中ニ繰入ルモノトス但シ特ニ在
庫量ヲ増加スルヲ要スルモノニ付テハ其量ヲ需要欄中
ニ明記スルモノトス

五 電力ノ需給ニ付テハ地域別送電系統別ニ出力及負荷
ヲ本表ニ準ジ記載スルモノトス

三 繰越及繰入數量ハ差引過不足ナキモノトシ計上セザ
ルモノトス

四 通常常備在庫量ハ需要中ニ繰入ルモノトス但シ特ニ在
庫量ヲ増加スルヲ要スルモノニ付テハ其量ヲ需要欄中
ニ明記スルモノトス

五 電力ノ需給ニ付テハ地域別送電系統別ニ出力及負荷
ヲ本表ニ準ジ記載スルモノトス

様式第五

一、主要資材所要額見込表（總括）

地域	産業名	所要資材名	單位	生産品目名						
				十六年度	十七年度	十八年度	十九年度	二十年度	二十一年度	
		普通銅々材								
		擴充用								
		補修用								
		運轉用								
		銅								
		セメント								

二、主要工場（又ハ鑛山）別主要資材所要見込表（個別）

前表ニ準ジ作成スルモノトス

様式第六

一 電力所要量見込表（總括）

地 域	産 業 名	區 分	生産品目名					— 單位 — K·K ·W·W ·H
			十六年度	十七年度	十八年度	十九年度	二十年度	
合 計	自 家 發 電	購 入 電 力						

二 主要工場（又ハ鑛山）別電力所要見込量（個別）
前表ニ準ジ作成スルモノトス

様式第七

一 労働者及技術者規所要見込數表

技術者	労働者	區分	産業名	地域
			生産品目名	單位
		十六年度		
		十七年度		
		十八年度		
		十九年度		
		二十年度		
		二十一年度		人

「備考」 技術者ニ付テハ學校程度及學科別ニ區分スルモノトス

二、勞働者、技術者補給計畫表（滿支ノミ）

補給計畫	地域		勞働者 所要數	地 域
	支那	日本		
				十六年度
				十七年度
				十八年度
				十九年度
				二十年度
				二十一年度

「備考」 技術者ニ付テハ學校程度及學科別ニ區分スルモノトス

様式第九

建設所要資材、資金及労働者算出根據表

地域	擴充品目	單位	當	資材		資金	労働者
				普通鋼々材	銅		

「備考」

- 一、 嶺山用資材ニ付テハ補修用ヲ含ムモノトス
- 二、 嶺山ノ労働者ハ坑内外全労働者トス
- 三、 機械類、自動車、船舶及鐵道車輛ニ付テハ本調査ヨリ除外スルモノトス

樣式第十

港灣施設計畫表

噸量	輸移出入貨物見込	內譯 〔前年度末能力 新規擴充能力〕	年度末吞吐能力	地域		港灣名
				區	域	
				十六年度		
				十七年度		
				十八年度		
				十九年度		
				二十年度		
				二十一年度		

様式第十一

鐵道建設改良計畫表

鐵道名	工事目的	工事内容	所要資材額					
			十七年度	十八年度	十九年度	二十年度	二十一年度	

「備考」 内河水運及道路ニ付テモ本表ニ準ジ作成スルモノトス

林原
申

十月十五日

朝鮮産業建設五ヶ年計畫概略案說明聽取ノ件
首題ノ件左記ニ依リ說明聽取致度ニ付關係官ノ派遣方御取計相煩度

記

一 日時
昭和十六年十二月二十三日（火）
二十四日（水）
午前九時三十分

一 場所
於企畫院第二會議室

追而該事日程ハ決定次第御通知申上候

木村 次 發 殿

企畫院第二發第一一八號
昭和十六年十二月十一日
拾年保
三九九
昭和十六年十二月十一日
16.12.11
日瀛支經濟協議會事務局長

日瀛支經濟協議會事務局長
企畫院次長 宮 本 武之輔



十二月十五日

第一二號

神原

12

拾年保

企畫院總二發第一一七號

昭和十六年十二月十一日

16.12.11
午後九時
官臣

省軍務課
16.12.12
1069

陸軍

本相及官

臺灣產業建設五ヶ年計畫概略案說明聽取ノ件

首題ノ件左記ニ依リ説明聽取致度ニ付關係官ノ派遣方御取計相煩度

記

一日時 昭和十六年十二月十六日（火）午前九時三十分ヨリ

一場所 於企畫院第二會議室

日滿文協會事務局長

企畫院次長 官 本 武之輔



第一三三號

十月十六日

閱

拾肆號
第一三三三號

企畫院文發第三三八號

昭和十六年十二月六日

企畫院總裁官房文書課長 内田源兵衛

陸軍次官 木村久太郎殿

陳情書、建議書等ノ處理ニ關スル件

標記ノ件ニ關スル十月分要旨調製致候條御參考迄ニ及送付候條御査

藤原
藤相成度候

Handwritten mark

企畫院總裁官房文書課

昭和十六年十一月二十二日

昭和十六年十二月十六日 午前 陸軍省

陸軍省 10.12.16 1862 軍務課

内閣

圖書十六年十二月六日
金齋院文藝部三三八號

金齋院總裁官親文書類是 內田 晴吳 贈

Yung



陳情書建議書等調 (其ノ七)

(昭和十六年十月中院受ノ分)

企齋院總裁官親文書課

昭和十六年十一月二十八日謝製

目次

一	行政制度ニ關スル件（四件）	1
二	統制經濟一般ニ關スル件（六件）	2
三	防空對策ニ關スル件（一件）	4
四	災害・水害對策ニ關スル件（二件）	5
五	對西方經濟對策ニ關スル件（四件）	6
六	配給對策ニ關スル件（八件）	7
七	産業對策ニ關スル件（四件）	9
八	食糧農業對策ニ關スル件（一一件）	11
九	水産對策ニ關スル件（三件）	14
一〇	燃料對策ニ關スル件（二件）	15
一一	勞務對策ニ關スル件（五件）	16
一二	中小商工業對策ニ關スル件（四件）	18

一三	財政・金融對策ニ關スル件（一件）	20
一四	通商貿易對策ニ關スル件（六件）	21
一五	物價對策ニ關スル件（二件）	23
一六	輸送對策ニ關スル件（五件）	24
一七	交通・通信ニ關スル件（六件）	26
一八	港灣・河川・土木對策ニ關スル件（八件）	28
一九	科學技術ニ關スル件（二件）	30
二〇	雜件（八件）	31

一 行政制度ニ關スル件

接受月日番號	件名	要旨	提出者	主管部課	備考
一〇月七日 4007號	官吏服制ニ關スル件	官吏タルノ誇リヲモチ其自覺ヲ促進スル爲至急官服制(袖章、袴章、法定サレタキ旨ノ陳情)	野村俊雄 (官吏)	第一部	處理濟
一〇月一三日 4107號	國內態勢ノ整備強化ニ關スル件	現下ノ時局ニ即應スベキ國內態勢ノ整備強化ニ關スル日本商工會議所常議員會決議ヲ建議シタルモノ	日本商工會議所	總務室	處理濟
一〇月一六日 4161號	町村臨戰態勢確立ニ關スル件	時局ノ緊迫ニ對處スベク道府縣町村長會(十月四日)態勢ヲ確立對策ヲ要綱ヲ建議政ノ援助指導ヲ依頼セルモノ	全國町村長會長	第三部	處理濟
一〇月二一日 4213號	船員並船員出身者登用ニ關スル件	海務院(假稱)設置ノ際ニ於ケル船員及船員出身者ノ行政官特別任用其他ヲ要望シタルモノ	在濱船員有志代表 東郷正作	第一部	

二 統制經濟一般ニ關スル件

接受年日番號	件名	要旨	提出者	主管部課	備考
一〇月六日 4005號	產業統制會ニ關スル件	時局ニ鑑ミ、設立ノ氣運ノ熱シタル産業ヨリ逐次指令レシタル統制會ノ建設ヲ促進サレタキ旨ノ建議	重要産業統制團體協議會々々長	第一部	
一〇月一〇日 4068號	營業免許制ノ施行及運用ニ關スル件	戰時體制下緊要ナル配給機體整備ノ爲早急ニ營業免許制ヲ施行シ且ツ其關係事務ヲ實情ニ明シ且ツ其關係事務ニ委任サレタキ旨ノ建議	日本商工會議所	第五部	
一〇月一〇日 4069號	遊休未働設備及遊休流動資産ノ應急的處理ニ關スル件	現下老舊化セル遊休未働設備及遊休流動資産ノ措置トシテ建設切ナル應急的措置其他ヲ建資活用財團ノ新設其他ヲ建議セルモノ	日本商工會議所	第四部	
一〇月二〇日 4195號	不正人絹會社ノ對策ニ關スル件	スフ業界（日東紡、新興人絹）等ニ於ケル不正申告ニヨル資材配給ノ實例ヲ具申シタルモ當局ノ善處ヲ要望シタル	安達春洋（兵庫縣）	第四部	

一〇月二二日	一〇月二二日
4249 號	4229 號
現下ノ統制經濟ニ對スル所見ニ關スル件	重要産業團體令(統制令)ニ關スル件
<p>新內閣成立ニ際シ、現下ノ經濟大時局ニ對スル意見(統制ノ第一主義)及官界新制ノ必</p>	<p>統制會設立促進ニ關スル閣議申合(一〇月一日)ニ付、實意ヲ表シ、一日早ク産業指導ノ關令制定ヲサレタキ</p>
日本實業會々會長	重要産業團體統制會々會長
第一部	第一部
處理濟	

三 防空對策ニ關スル件

接受年日	一〇月三〇日
番號	4336 號
件名	大都市防空防衛ニ關スル件外五件
要旨	六大都市市會議長會議ニ於ケル決議事項(イ)大都市防空防衛ニ關スル件(ロ)大都市食糧對策ニ關スル件其他四件ヲ建議セルモノ
提出者	六大都市市會議長會
主管部課	第一部
備考	

四 災害・水害對策ニ關スル件

接受年日	番號	件名	要旨	提出者	主管部課	備考
一〇月二〇日	4185號	颱風被害復舊資材配給ニ關スル件	十月一日ノ颱風被害ハ本縣生産部門ノ首位タル水産業ニ付特大ナルニ付漁業用資材ノ配給割當ヲ十分ニ考慮サレタキ旨ノ申請	長崎縣知事	第四部	處理濟
一〇月二七日	4275號	水害地方農村救濟方要望ニ關スル件	七月下旬ノ颱風ノ農業上ノ被害ニ鑑ミ、食糧確保ノ緊要性ヲ勘案シ耕地整理事業ニ對スル高率助成其他二件ヲ考慮サレタキ旨ノ陳情	東北六縣聯合農會 縣代表岩手縣農會會長	第二部	

五 對南方經濟對策ニ關スル件

接受年日	番號	件名	要旨	提出者	主管部課	備考
一〇月一日	3932號	南洋在住邦商ニ關スル件	我海外商權維持ノ緊要性ニ鑑ミ、引揚ノ益々増加スルニ在リ、邦商ニ對シ、緊急對策ヲ講ジ、自重セシムルヤウサレタキ旨ノ建議	南洋協會 々長	總務室	處理濟
一〇月二〇日	4176號	泰國對策ニ關スル件	緊迫セル國際情勢下ニ於テ、我國對泰國之對策ヲ考慮セルモノベキ事、項六件ヲ建議セルモノ	佛印對策 協議會 長	總務室	處理濟
一〇月二〇日	4194號	爾印在住邦人中小業者保護ニ關スル件	益々重大化スル爾印當局ノ在住邦人中、小業者ニ對シ、緊急對策ヲ講ゼラレタキ旨ノ建議	南洋協會 々長	總務室	處理濟
一〇月二〇日	4197號	佛印木材輸入ニ關スル件	佛印ニ於ケル山林資源開發ノ要況ヲ輸入資金割當其他ノ考慮ヲ要セルモノ	南國企業 株式會社	總務室	

六 配給對策ニ關スル件

一〇月二一日	一〇月一六日	一〇月九日	一〇月七日	接受月日番號
4012號	4100號	4044號	4017號	件
米穀配給ニ關スル件	絹織物配給機構具體案ニ關スル件	肥料其他農業生產資材配給ノ一元化ニ關スル件	東京甘藷配給機構ニ關スル件	名
米穀消費縣トシテノ廣島縣ニ配給機標ハ適正ナル現狀ニ付將來ノ米穀配給統制規程改正ノ際十分考慮サレ	九月中旬聲明ノ配給機構案ニ付具體實施ノ要項ヲ示シ、建議シタルモノ	肥料、飼料、農具、農藥、石油、釘、針、金等農具、資材ノ圓滑ナル配給ヲ確立サルニ至急農會中樞トスル元配給機構ヲ確立サレタキ旨ノ陳情	配給機構單一化ノ要請ニ基キ、東京甘藷卸賣市場ニ解散ノ上、中央卸賣市場ニ合流セントスルニ付、適切ナル當局ノ配慮ヲ望ム旨ノ陳情	要
產業組合 中央會 島支會	全日本 洋服 賣報 志會	四國四縣 市農 會役 職員 協談 會議 長	東京甘藷 卸業組 員有志	提出者 主管部課
第四部	第四部	第四部	第四部	備考
		處理濟	處理濟	

<p>一〇月二七日</p>	<p>一〇月三一日</p>	<p>一〇月三一日</p>	<p>一〇月二一日</p>
<p>4279 號</p>	<p>4348 號</p>	<p>4343 號</p>	<p>4217 號</p>
<p>● 生鮮食料品ノ生産及 配給機構ニ關スル件</p>	<p>生果配給機構改革ニ 關スル件</p>	<p>酒類配給機構ニ關ス ル件</p>	<p>帝都甘藷等配給統制 機構ニ關スル件 (八月三二〇一號參 照)</p>
<p>ノ用ヲ建 建議 ノ考慮全 期配給統 レ制規則 タキ旨運 的ニ融和セ ル活動ヲ規 制スル旨 卸一賣各機 構ガ受賈 上鮮食料品 ノ集荷一貫 爲生鮮食料 品ノ生産及 配給ノ 銃後國民生 活ノ安定確 保ノ</p>	<p>生果配給ニ關シ、現在ノ奇果 配給何受組合ノ機能ヲ整備シ 機構十分ナル活用ヲ以テ事 變下國民ノ生鮮食料品ノ確 保策ナリトノ緊急陳情セル モノ</p>	<p>酒類ノ配給ニ付テハ國家經 濟機關一元化ノ大方針ニヨ リ商業組合中心トサレタキ 旨ノ陳情(電報)</p>	<p>情制ヲ早急促進サレタキ旨陳 考慮シ、卸商ノ集荷配給統 制ノ特殊事情ヲ 帝都甘藷等配給統制ノ規則 及</p>
<p>大阪商工 會議所會 頭</p>	<p>東京青果 物荷受配 給組合</p>	<p>小樽食糧 品商會</p>	<p>東京甘藷 業者 一六名</p>
<p>第四部</p>	<p>第四部</p>	<p>第四部</p>	<p>第四部</p>

七 産業對策ニ關スル件

接受月日番號	件名	要旨	提出者 主管部課 備考
一〇月四日 3985號	過燐酸石灰製造工場 ノノ増設ニ既設工場 ノノ生産増加ニ關スル 件	現下食糧増産上不可缺ナル 本道過燐酸、石灰、化學、函館工 場（本道唯一）ノ生産増及 性（本道唯一）ノ生産増及 府縣既設工場ノ整理統合ニ ヨル移轉増設ノ必要ヲ稟請 シタルモノ	北海道廳 第四部 處理濟 長官
一〇月八日 4020號	平和産業ノ整理對策 ニ關スル件	現時局下ニ於テ不急不要ト サルル平和産業ニ對テモ其 サ異性ニ鑑ミ戰後對策トシ テノ考慮ヲ十分ニ參酌シ 理統合サレタキ旨ノ建議	名古屋商 工會議所 第一部
一〇月三〇日 4334號	花菱疊表同業組合ニ 關スル件	花菱疊表同業組合ノ別働隊 トシテ工業組合ノ組織配給 コトヲ阻止シ、經濟系ノ配給 ト製品ノ統制ヲ業系組合ニ 行ハセラレタキ旨ノ陳情	九幡村信 用販賣會 買利組合長 第四部

一〇月三〇日

4342 號

關絹緞
スス維
ルフ國
件ノ策
生ト
産シ
確テ
保ノ
ニ人

ベ復シ時
キ原緞局
諸力細緊
點ノ資追
ヲ上料化
陳ヨ確ノ
情リ保緞
セ絶及細
ル對戰國
モ考後策
ノ慮經ニ
ス濟調

長聯日
合會本
會會人
々々絹

第二部

一〇月二八日	一〇月二四日	一〇月二〇日	一〇月一三日	一〇月一三日
4305 號	4247 號	4199 號	4110 號	4113 號
食糧問題ニ關スル件	食糧増産對策ニ關スル件	國營的食料品保有ニ關スル件	合成醬油製造法（松浦式速醸法）採用並旋方ニ關スル件	農林省林業試驗場九州支場設置ニ關スル件
今日ノ食糧問題解決策ノ一トシテ、 建シタルモノノ作ルベキ旨ヲ的 ナシタルモノノ作ルベキ旨ヲ的 ナシタルモノノ作ルベキ旨ヲ的	時局下食糧増産ノ緊要ニ鑑 ミ、米穀増産施設ニ對スル 電力料金減及供給準備料 撤廢其他八件ノ地協會決 議ヲ陳情シタルモノノ地協會決	函館特産赤蕪千枚漬製造ニ 要スル砂糖ノ特配ヲ申請シ タルモノノ	小麥八〇%以上ノ節約可 能ナル松浦式速醸（醬油製 造）法農林省ノ承認並旋方 ヲ依頼セルモノノ	時局下林産物生産ノ重要性 ニ鑑ミ、其林業技術ノ九州支 場新設サレタキ旨、上申
桑村常之 助（神 川縣）	京都府耕 地協會 （外一 府五 縣）	中野商店 （函 館市）	日本醬油 醸造所代 表者	熊本縣知 事外六 縣知事
第二部	第四部	第四部	第四部	第二部

一一 勞務對策ニ關スル件

一〇月二七日	一〇月二七日	一〇月九日	接受月日
4287 號	4284 號	4051 號	番號
土木事業ノ勞務供給 特ニ支那苦力移入ニ 關スル件	賃金統制令第三十二 條ニ依ル適用除外ニ 關スル件	農業勞力調整ニ關ス ル件	件名
適迫セル勞務給源ニ對處シ、 勞務員計畫ノ遂行ヲ原則 スル爲メ、日滿支一體ノ ニ基キ、特ニ各種土木事業 ニ支那苦力ヲ移入サルヤ ニ付、考サレタキ旨ノ陳情	賃金統制令第三十二條ニ依 ル適用除外ニ關シ、 ト同様に市町村ヲモ加ヘ、 間ノ不合理的ヲ是正セラレ キ旨ノ陳情	戰時下食糧増産確保ノ爲積 極的ナル農業勞力調整施策 ヲサレタキ旨ノ陳情	要旨
土木工業 協會理事	奥羽六縣 北海道樺 太市長會	四國四縣 縣役職員 協會職員 長	提出者
第三部	第三部	第三部	主管部課
處理済	處理済	處理済	備考

一〇月二七日	一〇月三一日
4288 號	4349 號
中小鐵工機械工場勞務補充ニ關スル件	北洋漁業勞務者確保ニ關スル件
重點主義ノ強化ニ伴ヒ、適切ニ勞務ニ對シテ、機械工場ノ勞務ニ對シテ、時局的任務ヲ認ゼラレタキ	北洋漁業ノ權益擁護ノ爲、不可缺ナル勞務者確保ニ付、根本對策ヲ樹立サレタキ
東京鐵工機械同業組合組長	北洋漁業協業會會長
第三部	第三部
處理済	處理済

一二 中小商工業對策ニ關スル件

接受月日	件名	要旨	提出者	主管部課	備考
一〇月八日	中小工業緊急整備對策要綱ニ關スル件	工業我邦特異性及於中小工業ノ特殊異性及於中小工業ニ關シタル中真工	工業中央會合	第三部	處理濟
一〇月二二日	中小工業ノ整理統合ノ見込	中小工業ノ整理統合ノ見込	大阪商工組合	第三部	處理濟
一〇月二五日	時計販賣業者ノ特異性ニ關スル件	時計販賣業者ノ特異性ニ關シタル技術部門	中央時計工業組合	第三部	處理濟

4263 號

4220 號

4041 號

番號

時計販賣業者ノ特異性ニ關スル件

中小工業ノ整理統合ノ見込

中小工業緊急整備對策要綱ニ關スル件

件名

要旨

提出者
主管部課
備考

一〇月三〇日

4526 號

中小企業組合制度改
善方策ニ關スル件

時局下緊要ナル中小企業ノ
整理統合ニ付、其指導者
ニヨル中小企業ノ組織者
ニシテ、其業務ナル旨
ヲ確立スルモノ
ヲ建議シタルモ

東京實業
組合聯合
會會長

第三部

處理濟

一三 財政・金融對策ニ關スル件

一〇月 八日	接受月 日
4037 號	番號
日本協同證券株式會 社ノ機構充ニ關スル件	件 名
戰時經濟下生産力擴充資金 供給確保ノ爲日本協同證券 株式會社ノ機構ヲ擴充強化 サレタキ旨ノ建議	要 旨
日本實業 協會會長	提出者
第五部	主管部課 備考
處理済	

一四 通商貿易對策ニ關スル件

一〇月 六日	一〇月 四日	一〇月 四日	接受月 日
4006 號	3984 號	3983 號	番號
中支那陶磁器輸入ニ 關スル件	中支方面ヨリノ移入 布帛製品ノ現地方策 ニ對スル件	天津ニ於ケル日本製 石鹼販賣壓迫對策ニ 關スル件	件名
占領地ノ現情ニ鑑ミテ 向陶磁器輸入強化爲 當ヲ考慮サレタキ旨 ノ	最近爲替キヤツブ利用 人拔ニカカル布帛製品 ヨリ天津ニシク輸入 天津現地製品ヲ壓迫 ニ對スル施策方建議 セルモ	上海製石鹼(英國系工場製 品)ガ天津ニ於テ日本製 石鹼販賣ヲ壓迫シツアル レタキ旨ノ至急對策ヲ講 對處シ、至急對策ヲ講ゼ レタキ旨ノ建議	要旨
中支那陶磁器輸入 本輸入部 長組合理事	天津商工 會議所 頭	天津日本 商工會議 所頭	提出者
第五部	第五部	第五部	主管部課
	處理濟	處理濟	備考

一〇月二九日	一〇月一三日	一〇月一日
4322 號	4121 號	4077 號
雜貨輸出組合設立ニ 關スル件	對伯國日本製乾麵輸 出促進ニ關スル件	橫濱貿易業者ノ圓域 向輸出割當修正ニ關 スル件
重要産業團體令ニ基ク日本 貿易統制會ニ即應スル具案 貨輸出組合ニ關スル具案 ノ意見書	現下及戰後世界貿易ノ情況 對處ノキ對伯國ノ建設 製乾麵輸出促進ニ關スル セルモノノ	現下貿易轉換期ニ際シ、第 三國向ヲ使命トセル橫濱市 貿易業者ノタメニ圓域向輸 出割當ヲ修正サレタキ旨ノ 陳情書
神戸市別館 市場組合 究會	神戸商會 頭戶會 伯國會 長協會	橫濱市振 興協會 會長
第五部	第五部	第五部
	處理濟	處理濟

一五 物價對策ニ關スル件

一〇月三日	一〇月八日	接受月日
4331 號	4039 號	番號
低物價生産増強對策 ニ關スル件	實質的低物價政策ノ 徹底ニ關スル件	件名
前記ニ付建設セルモノノ實行機	陳情シ其方策ヲ建議シタル	要旨
正價ニシテ高騰ノ對策ヲ確立シテ物價ノ急激な上昇ヲ防止スルニシテ、生産力ノ増進、物價ノ安定的な維持、及、消費者ノ利益ヲ保護スルニシテ、物價ノ暴落ヲ防止スルニシテ、生産力ノ増進、物價ノ安定的な維持、及、消費者ノ利益ヲ保護スルニシテ、	特ニ生活必需品ノ消費上ノ矛盾ヲ至急ニ是正サレタキ旨ヲ陳情シ其方策ヲ建議シタル	
日本經濟聯盟會	大政翼贊會古屋長	提出者
第五部	第五部	主管部課
處理濟	處理濟	備考

一〇月二八日	一〇月二八日	一〇月二七日	一〇月二五日
4298 號	4296 號	4268 號	4260 號
機帆船積送ニ關スル件	昭和十六年下期石炭輸送配船ニ關スル件	莫大小配給品ノ運送取扱方ニ關スル件	關印南洋材積出配船ニ關スル件
最近ノ油類消費規正ニ依ル極度ノ油類消費規正ニ依ル先積取方ヲ考慮サレ度キ旨	沖繩縣ニ於ケル石炭輸送困難ナラズニ至ル前ニ速急輸送ナル期ニ至ラレタキ旨ノ陳情	性其他ノ事情ナシトシテ特別ノ運送ニ關シテ滑ナラシメラレタキ旨	關印南洋材積出許可ヲ無効ナラシム旨ノ請願
鐵鋼統制會理事長	沖繩石炭統制組合長	莫大小配給品會社社長	東滿鐵公司代表者
第六部	第六部	第六部	第六部
處理済	處理済	處理済	處理済

一七 交通・通信ニ關スル件

一〇月 一五日	一〇月 一一日	一〇月 九日	一〇月 八日	接受月日
4153 號	4076 號	4045 號	4043 號	番號
鐵道戶井線一部軌道 敷設工事着手ニ關 スル件	根岸線櫻木町磯子間 鐵道建設ニ關スル件	道路營團ノ提唱ニ關 スル件	三陸鐵道促進ニ關ス ル件	件名
重要鐵道敷設工事着手ニ關 スル件 田ノ戸ノ鐵道敷設工事 手サレタキ旨ノ陳情	重要鐵道敷設工事着手ニ關 スル件 田ノ戸ノ鐵道敷設工事 手サレタキ旨ノ陳情	重要鐵道敷設工事着手ニ關 スル件 田ノ戸ノ鐵道敷設工事 手サレタキ旨ノ陳情	重要鐵道敷設工事着手ニ關 スル件 田ノ戸ノ鐵道敷設工事 手サレタキ旨ノ陳情	要旨
北海鐵道總務課	濱市振興會	自勵重文研究所	三陸鐵道促進會	提出者
第六部	第六部	第六部	第六部	主管部課
處理済	處理済		處理済	備考

一八 港灣・河川・土木對策ニ關スル件

一〇月一日	一〇月一日	一〇月一日	一〇月四日	接受月日
4086 號	4078 號	4063 號	3972 號	番號
小貝川上流改修ニ關スル件	鶴見川改修工事ニ關スル件	筑後川改良工事ニ關スル件	豐ヶ浦北浦洪水水位低下工事ニ關スル件	件名
既ニ下流改修工事ノ含ムガ 工セルニ鑑ミ、其ノ上流改修ニ チモ早急完成ノ水害豫防ニ 努力サレタキ旨ノ陳情ニ	交通上、産業上至大ノ利害 關係ヲ伴フ鶴見川改修工事 チ是非總シテ年々上流ノ陳情 急完成サレタキ旨ノ陳情至	水害防止及農産物増産ノ爲 日本三大河川ノ一ナル筑後 川ノ改良工事促進ニ付、其 年度ノ制約ヲ請願セルモノ	今水ノ開設シテ北浦ノ水 路ニ開闢スルニ放流ノ水 量ト共ニ應島洋ニ放水スル 放水路ノ開闢工事ノ即時實 現方ヲ陳情セルモノ	要旨
茨城縣上野村	廣瀨町長	筑後川改良工事期成同盟會	豐ヶ浦北浦治水協會長	提出者
第六部	第六部	第六部	第六部	主管課
處理済	處理済	處理済	處理済	備考

一〇月二九日	一〇月二〇日	一〇月一三日	一〇月一三日
4319號	4175號	4120號	4112號
常願寺川改修ニ關スル件	岐阜縣山縣用水改良工事施行ニ關スル件	龍崎浦、北浦ノ水路即時 龍崎浦、北浦ノ水路即時 龍崎浦、北浦ノ水路即時	由良川改修促進方ニ關スル件
古來難治ノ河川ノ一トナル 古來難治ノ河川ノ一トナル 古來難治ノ河川ノ一トナル	目下岐阜縣當局ニテ立案中 目下岐阜縣當局ニテ立案中 目下岐阜縣當局ニテ立案中	今水害ニ鑑ミ皇土防護、 今水害ニ鑑ミ皇土防護、 今水害ニ鑑ミ皇土防護、	水害ノ豫防、農産物ノ増産 水害ノ豫防、農産物ノ増産 水害ノ豫防、農産物ノ増産
富山市長 富山市長 富山市長	各務用水 各務用水 各務用水	龍崎浦、北浦 龍崎浦、北浦 龍崎浦、北浦	京都府知事 京都府知事 京都府知事
第六部	第六部	第六部	第六部
處理済		處理済	處理済

一九 科學技術ニ關スル件

接受月日	件名	要件	旨	提出者	主管部課	備考
一〇月七日	工業獎勵館ノ設立ニ關スル件	國民ノ科學精神振興ノ爲、大衆的ナル工業博物館ノ設立經營ノ必要ヲ建議セルモノ		重松清行	第七部	處理済
一〇月二八日	造船科學ノ振興ニ關スル件	船舶科學ノ振興ニ關シ、造船協會附設ノ「船舶科學振興委員會」ノ決議ヲ建議シタルモノ		造船協會 長	第六部	處理済

4304 號 4012 號 審號

一〇月 一三日	一〇月 一〇日	一〇月 七日	一〇月 四日	受月日
4122號	4060號	4019號	3971號	番號
施查度 方制量 ニ度衡 關及器 ス現計 ル地量 件製器 作ノ 實檢	折疊式 ニ關スル スル件 ノ普及 方	施查度 ニ制量 關度衡 ス及器 ル現計 件地量 製器 作ノ 實檢	關一 ス週 ル年 件記 念 會 決 議 ニ	件 名
モヲ四 ノ商〇 工一 會九 議號 所ト ヨリ同 副旨 申ノ セル陳情	活用造 用新用 サ案ト レ登シ レテノ キ折 旨ノ疊 ノ全式 陳國荷 情的箱 ニ實荷	ノノ其計 必檢量 要查器 ナ制ノ ル度統 旨及制 ヲ現ノ 陳地徹 情製底 セル作化 モ施特 ニ器	護スニ斷 ヲベ努乎 送キ力日 リ旨シ獨 越ノ封伊 セル一米 モ年媚三 ノ記外同 念交ノ 會ヲ前 決會排進	要 旨
所商天 會工津 頭會日 議	縣郡阿 （部唯 ）福鳥次	長組器衛 合商器天 組同計津 合業量量	シ神 ア戸 協大 會ア	提出者
第七部	第七部	第七部	文書課	主管部課
處理済	處理済	處理済		備考

一〇月二四日	一〇月二三日	一〇月二二日	一〇月二一日
4242 號	4241 號	4219 號	4218 號
件 臘 豚 獸 獵 獲 ニ 關 ス ル	件 映 齋 新 體 制 ニ 關 ス ル	設 置 方 ニ 關 ス ル 件 北 方 寒 地 農 業 傳 習 所	結 核 療 法 用 原 料 植 物 ツ エ フ ア ラ ン ニ 關 ス ル 件
ノ ナ 等 陸 海 テ 臘 豚 獸 獵 獲 及 中 部 千 鳥 ノ 堅 實 旨 價 ル 移 讓 シ 以 テ 業 ノ 堅 實 旨 情 經 營 企 圖 サ レ タ キ 旨	案 二 政 府 提 示 ノ 利 非 行 制 映 齋 新 體 制 之 旨 レ タ キ 旨 陳 情	情 度 氣 業 ノ 滿 洲 農 業 移 民 高 級 指 導 員 テ 等 地 味 所 假 設 置 當 リ テ ハ 定 地 學 農 業 開 發 度 文 化 ト ミ 旭 川 市 近 郊 町 村 陳	我 國 現 下 於 結 核 病 豫 防 ノ 緊 要 性 鑑 ミ 化 學 療 法 用 ノ 原 料 物 質 之 定 具 體 策 ヲ 建 議 シ タ ル モ ノ
長 協 海 洋 漁 業 事 業	長 組 映 日 本 教 育 同 業 會 同 業 會	與 同 議 同 旭 川 市 長 會 同 會 同 會	醫 研 化 學 療 法 會 博 士 長 谷 川
第 一 部	文 書 課	第 三 部	第 三 部
處 理 済		處 理 済	處 理 済

20年

拾年保

極秘

内閣閣甲第三六七號

昭和十六年十月十四日

内閣書記官長 富田 健治

陸軍大臣 東條英機殿

統制會ニ關スル閣議申合せニ關スル件

標記ノ件本日別紙ノ通閣議決定相成候條依命此段及通牒候

各係取寄

十月三日

十二月十九日

第一號



20号

拾年保

内閣閣甲第三六七號

16.10.16

陸軍省
10.10.21
1624
軍務課

極秘

昭和十六年十月十四日

内閣書記官長 富田 健治

陸軍省 軍務課 印

陸軍大臣 東條英機 殿

統制會ニ關スル閣議申合せニ關スル件

標記ノ件本日別紙ノ通閣議決定相成候條依命此段及通牒候

各係取付

十月二十日

十月十九日

第一四一號



統制會ニ關スル閣議申合せニ關スル件

第一 産業ノ指定ニ關スル件

- 一 閣令ニ依ル産業ノ指定ハ統制會毎ニ之ヲ爲スコト
- 二 網羅的指定ヲ爲サズ重點的ニ逐次指定ヲ行フコト

第二 統制會ノ監督ニ關スル件

- 一 統制會ノ主管官廳ハ原則トシテ當該統制會ヲ構成スル者ノ事業ヲ主管スル官廳トスルコト但シ其ノ他ノ官廳ハ天々ノ所管ニ應ジ其ノ所管事項ノ範圍内ニ於テ統制會ヲ指揮監督スルコトヲ得

- 二 統制會ヲ構成スル者ニ依リ生産セラレタルモノノ需要者ノ事業ヲ主管スル官廳ニ對シ當該統制會ノ主管官廳ハ線ノ左ノ事項ニ協議スルコト

尙其ノ製品ガ一定ノ需要者ニ專用セラルル場合ニ於テハ製品ノ配給ハ其ノ需要者ノ事業ヲ主管スル官廳ノ所管トスルコト

(イ) 製品ノ需給統制ニ關スル事項(品種別生産數量ノ決定ヲ含ム)

- (ロ) 製品ノ價格統制ニ關スル事項
- (イ) 製品ノ品質、規格、性能ニ關スル製造業者ノ技術指導ニ關スル事項

第三 統制會長ニ關スル件

- 一、 統制會長ハ之ヲ民間業者ヨリ任命スルコト
- 二、 統制會長ニ對シテハ原則トシテ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ認可セザルコト但シ政府ノ委員其ノ他公務ニ從事スル場合ヲ除ク

三、 統制會長ニハ一定ノ待遇ヲ與フルコト

四、 理事長ニ付テモ統制會長ニ準ジ之ヲ取扱フコト

第四 統制會會長ノ權限ニ關スル件

- 一、 政府ハ統制會會長ニ對シ左ノ事項ニ付其ノ權限ヲ委任スルコト
 - (イ) 當該産業部門別計畫ノ範圍内ニ於テ行フ實施（生産、勞務ノ割當、原材料資材其ノ他ノ割當配給等ヲ含ム）ニ關スル事項

(ロ) 當該産業部門内ニ於ケル企業ノ許可ニ關スル事項

二 當該業者ニ對シ政府ヨリ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ原則トシテ統制會會長ヲ經由スルコト

三 當該業者ヨリ政府ニ對シ許認可ヲ申請シ、届出ヲ爲シ又ハ必要ナル資料ヲ提出スル場合ニ於テハ必ず統制會會長ヲ經由スルコト
右ノ場合ニ於テ統制會會長ハ之ニ意見ヲ附シ政府ニ上申スルコトヲ得ルコト

四 當該産業ニ關スル各種ノ計畫ノ立案、法令ノ制定等ヲ行フ場合ニ於テハ出來得ル限り統制會會長ニ之ヲ諮問スルコト

五 當該産業ノ整備確立ニ關シ統制會會長ヲシテ必要ナル措置ヲ講ゼシムル爲必要ナル權限ヲ附與スルコト

六 資金ノ統制及會社經理ノ統制ニ關シ一定ノ範圍内ニ於テ速ニ統制會會長ニ對シ權限ノ委任ヲ考慮スルコト

七 官廳ト統制會會長トノ權限ノ重複、他ノ組合又ハ團體ト統制

會長トノ權限ノ重複ニ關シ速ニ之ヲ統制會會長ニ一元化スルノ措
置ヲ講ズルコト

第五 統制會ノ整備ニ伴ヒ官廳ノ機構ノ整理ヲ行フコト